

学芸会 (10月29日)

「はじめての学びいかい」

一年 たかはし りょう

「さあ、山へいこう」はくは、さいごのせりふをがんばった。むずかしかったけれど、できた。「すぐくじょうずにできてたね」とほめられた。大きいやぎのがらがらどんをやってよかったよ。

「がんばった学びいかい」

二年 市川 きすけ

ぼくは、二つのやくをやりました。ライオンのやくでは、「ウオー」のところを力いっぱい大きな声で言えました。お母さんが「がんばったね」と言ってくれたので、がんばってよかったと思いました。

「大せいじう」

三年 家永 奈々子

学びいかいのめあては、動作を大きくすることでした。本番はちよつとはずかしくて、思いきりできなかつたけど、大きな声でせりふは言えました。木魚もたたく力が弱くならないように力いっぱいたたきました。自分なりにがんばれました。

「がんばってやった黒子の仕事」

四年 南 紗織

げきの始まりのせりふをわたしが言ったとき、お客さんたちがはく手してくれましたので、がんばってやろうと思いました。いつもはうまくふけない水ぶえも、小鳥の鳴き声のようにふけました。黒子の仕事は大変だったけど、げきをもり上げることができてよかったです。

「百点満点！」

五年 神谷 遥乃

待ちに待った学芸会の日。「見る人を感じさせたい、最高の劇にする」と気合を入れてぶ台に立った。最後の場面、体育館に「青おにくん」の声をひびかせた。目標が達成でき、百点満点の劇ができたと思う。

「最後の学芸会」

六年 本田 哲寛

ぼくは、小学校最後の学芸会にせいといっぱい取り組みました。劇の一番はじめに出てせりふを言わなければいけないので心配で、とてもきん張しました。でも、練習どおりにうまくできたので、とてもよかったです。また一つよい思い出ができました。



「笑顔で元気に」



保護者 石川 拓也

大きな声で劇の役を演じ、合唱でも楽しみなながら自分のパートをやり切ったことはみんな自信になったと思います。そんな姿を見て子供たちの成長を感じた学芸会でした。また来年はどんな姿が見られるか楽しみです。

「子供たちの精一杯」

保護者 市川 自然

一年ごとにやって来る学芸会。普段見ることのない姿を多く見ることができ、成長を感じました。大きな声が出ていました。役の気持ち伝わってきた。精一杯の練習で、すばらしい学芸会をありがとう。

修学旅行 (11月6〜7日)

「鹿と修学旅行」

六年 立川 徳馬

一日目は奈良だったので、鹿と遊ぶのが楽しかったです。最初は鹿が突進してきたので、こわくて、にげていました。でも、勇気をだして、せんべいをあげました。せんべいを食べる姿はとてもかわいかったです。



マラソン大会 (11月30日)

「くやしかったよ」

三年 後藤 弥生

ピストルが鳴り、みんな力いっぱい走り出しました。先頭の四年生はとても速いので、近づけませんでした。ラストで少しスピードを上げたけど、ゆうなさんにおいつけませんでした。とてもくやしかったです。

「わが子の成長」

保護者 廣永 真弓

今年で三回目のマラソン大会です。毎年完走できるか心配しながら応援しています。少しずつたくましく成長する息子をうれしく思います。来年はどんな成長をみせてくれるか今から楽しみです。

